

2 0 2 1 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 A I D S ネットワーク横浜

1 事業の成果

① 一般社会に対する教育、啓発活動

ア 第28期ボランティア学校開催、A I D S文化フォーラム in 横浜参加事業
性・S T I・A I D Sについての一般市民に対する啓発及び、電話相談員の養成・研修を目的に開催している。しかし、2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、会員、及び会員から紹介のあった相談員希望者のみを対象として開催した。新たな電話相談員の獲得につながった。また、A I D S文化フォーラム in 横浜では1講座をオンライン開催とし、多くのエントリーがあり、高い評価を得た。

イ 出前講座講師派遣事業

若者、社会人を対象とした啓発活動として行っており、社会人2、高等学校2、中学校4から依頼があり、感染予防として、少人数での複数回講演、校内オンラインでの講演など、状況、要望に柔軟に対応して実施した。

広く性教育的な内容を含めた内容は好評であり、講演後の質問に対して、すぐに文書で回答をしていることも信頼につながっている。

ウ 行事積立金事業

昨年度で積立を終え、創立30周年に向けて検討を開始した。

② 電話相談事業

毎週水曜日夜間と土曜日の午後に開催しており、横浜市より一部委託を受けている。8月に新型コロナウイルスによる時間短縮はあったが、休止とすることは無かった。マスコミでの情報減から正しい知識が浸透していないだけでなく、SNSの正誤とりまぜた情報に惑わされている状況が見られる。電話相談での匿名対話形式は、徒な不安感を解消し、ストレスを緩和するには最適な手段である。

③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動

ア ニュースレターの発行

223～225号の3回の発行を行った。本法人の活動の報告、各種の研修会や講座の報告、書評、講座の情報などを掲載した。

イ ホームページ公開、更新事業

H I V/A I D Sの理解と予防啓発、共生社会に向けての活動を行った。ニュースレターをアップし、更新していることで、一般に向けてのH I V/A I D Sについての啓発、研修の機会となっている。広く閲覧されているようで、問い合わせ、資料請求などがあった。

④ この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

ア 財務部

賛助会費を含む寄付金の獲得と受付に努めた。

イ 事務局

特定非営利活動に係る事業に必要な諸手続き、調整、連絡などを行い、活動の立案・情報交換・調整を行う運営委員会を8月を除く毎月開催した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 一般社会に対する教育、啓発活動に関する事業

ア 第28期ボランティア学校開催、AIDS文化フォーラム in 横浜参加事業
(昨年度の28期が中止となったため、期数は28のままとした。)

- ・内 容 5日間10講座を開催
- 8月 7日(土) 「HIVと妊産婦への切れ目のない支援」
水主川 純(東京女子医科大学)(オンライン)
- 9月 4日(土) 「やさしくSTIと免疫」
堀尾 吉晴(AIDSネットワーク横浜事務局長)
「いろいろな性」
安達 倭雅子(“人間と性”教育研究協議会幹事)
- 9月18日(土) 「HIVの検査」
佐野 貴子(県衛生研究所)(オンライン)
「感染者、患者の看護と介護」
宮林 優子(横浜市民病院感染症科看護師)
- 10月 9日(土) 「HIV陽性者の現状と課題」
高久 陽介(ジャンププラス)
「感染者・患者の生活とソーシャルワーカーの役割」
中野 恵寿美(横浜市大付属病院S.W.)
- 10月23日(土) 「HIVの治療について」
小島 賢一(荻窪病院臨床心理士)
「カウンセリング講座」
小島 賢一(荻窪病院臨床心理士)
- ・場 所: 8/7のオンラインは東京女子医大、横浜YMCA、本法人事務所の三か所を、9/18のオンラインは衛生研究所と技能文化会館とを繋いだ。9月18日は横浜市技能文化会館。他は、神奈川県労働プラザ。
- ・従事者人員 延べ36人
- ・受益対象者 本会会員、一般市民希望者、 延べ約200人
- ・支 出 額 424,358円

イ 出前講座事業

- ・内 容 学生、成人に対する啓発講演活動。成人2、高校2、中学4から要請があり実施した。成人1はオンラインで実施。
- ・日 時 通年。要請により実施。
- ・場 所 要請者が指定する場所。
- ・従事者人員 延べ17人(打ち合わせ含む)
- ・受益対象者 中・高生徒、社会人 約1,500人
- ・支 出 額 110,953円

ウ 行事積立金事業

- ・昨年度で積立は終了し、2022年の創立30周年に向けて検討を開始。
- ・支 出 額 0円

② 電話相談事業

- ・内 容 一般市民からのH I V、A I D Sにかかわる電話相談。
一回につき、相談員 2 名が 3 時間担当した。
相談員研修として、事例検討会などを 5 回実施した。
- ・日 時 毎週、水 (18:00~21:00)、土 (15:00~18:00) 計 9 8 回
- ・場 所 横浜A I D S 市民活動センター
- ・従事者人員 延べ 253 人 (事務作業、研修活動を含む)
- ・受益対象者 一般市民 380 人
- ・支 出 額 263, 851 円

③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動に関する事業

ア ニュースレター発行事業

- ・内 容 会員・関係者に対して、本法人の活動、様々な情報を発信。
- ・日 時 年間 3 回発行
- ・場 所 横浜A I D S 市民活動センター
- ・従事者人員 延べ 7 人
- ・受益対象者 会員および関係団体。次のイにより一般市民多数。

イ ホームページ公開、更新事業

- ・内 容 不特定多数の方を対象として、ホームページを随時更新し、ニュースレターや、様々な情報を公開。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜A I D S 市民活動センター
- ・従事者人員 延べ 4 人
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・ア、イの支出額計 30, 474 円

④ この法人の目的を達成するために必要な活動 (管理部門)

- ・内 容 会計・書類作成・提出などの事務的業務。運営委員会による、企画・調整業務。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜A I D S 市民活動センター内法人事務所
- ・従事者人員 延べ 71 名
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 360, 752 円